

地域研修カリキュラム

※講師等との調整により、カリキュラムに若干の変更の可能性があります。

オンデマンド講義

視聴時間約4.8時間

※受講必須のみの場合

概 要		単 元 名 / 講 師			● : 受講必須 ◇ : 受講任意	分
災害対応業務全般						
防災行政の概要	1	防災行政概要	内閣府	◇	20分	
防災に関する法	2	災害法体系と災害対策基本法の概要	内閣府	◇	15分	
防災計画	3	防災計画の概要	内閣府	◇	15分	
災害概要	4	地域の災害特性	福島地方気象台	●	60分	
BCP						
BCP	5	行政のBCP、BCM	東北大学	●	50分	
応援・受援の基礎知識						
受援体制	6	地方公共団体間の相互応援と受援体制	内閣府 総務省 大野城市	●	130分	
受援対象業務の概要						
避難所対応の基本	7	避難所の開設・運営の内容	内閣府	●	15分	
廃棄物処理の基本	8	災害廃棄物処理の概要	環境省	●	10分	
被害調査の基本	9	被害認定調査・罹災証明書の概要	内閣府	●	10分	
インフラ復旧の基本	10	インフラ復旧の概要	国土交通省	●	15分	
災害時の福祉の基本	11	災害ケースマネジメントの概要	内閣府	◇	15分	
物資の調達・輸配送						
物資調達・輸配送の基本	12	国としての物資の備蓄および災害時における物資の調達・輸送	内閣府	◇	15分	
物資調達	13	救援物資の調達	コメリ 災害対策センター	◇	35分	
物資輸配送	14	救援物資の輸配送	佐川急便	◇	30分	
演習	15	救援物資ロジスティクス演習	内閣府	◇	30分	

リアルタイム研修

時間	単元	講師	分	単元の概要
9:30 ～9:40	- (オリエンテーション)	(事務局)	10分	
9:40 ～10:35	1 【講演】 事例から学ぶ受援の実態と課題	語り手: 受援経験のある自治体職員 聞き手: 佐藤 翔輔	55分	災害時の受援を経験した自治体職員の実体験を踏まえた講演を通じて、受援の実態と課題を学ぶ。
10:35 ～10:50	- (休憩)		15分	
10:50 ～11:45	2 【講演】 事例から学ぶ応援の実態と課題	語り手: 応援経験のある自治体職員 聞き手: 佐藤 翔輔	55分	災害時の応援を経験した自治体職員の実体験を踏まえた講演を通じて、応援の実態と課題を学ぶ。
11:45 ～12:45	- (昼休み)		60分	
12:45 ～14:25	3 【演習】 災害対応過程と態度を学ぶ	佐藤 翔輔 (東北大学)	100分	災害時の応援・受援を経験した自治体職員の体験談から得た知見・教訓をグループワークで整理することで、災害発生前後の活動を確認し、行政の対応の流れや災害対応上の課題、活動上のポイントを学ぶ。
14:25 ～14:35	- (休憩)		10分	
14:35 ～16:15	4 【演習】 受援計画作成演習	講師: 佐藤 翔輔 講評: 丸谷 浩明 (東北大学)	100分	1・2限目の講演および3限目の演習で得た学びを受援計画に落とし込むことで、受援計画策定のポイントを学ぶ。
16:15 ～16:20	- (休憩)		5分	
16:20 ～17:05	5 【演習】 ふりかえり	派遣講師	45分	研修を通じて学び得たものを整理し、日頃からの「備え」につなげることを演習を通して学ぶ。
17:05 ～17:15	- (閉講)	(事務局)	10分	

コーディネーター

【プロフィール】

東北大学 災害科学国際研究所  
准教授 佐藤 翔輔 氏

東北大学 災害科学国際研究所  
特任教授 (研究) 丸谷 浩明 氏

東北大学助教を経て、2017より現職。専門は災害情報、災害伝承、災害復興。災害・防災に関するコミュニケーションの領域について、実務現場と連携して取り組む。  
福島県地震・津波被害想定検討委員会委員/福島県・次世代伝承者育成プログラム検討プロジェクトチーム (有識者) /福島県・文化スポーツ局指定管理者選定検討会委員/東北地方整備局・震災伝承施設連絡会議 (福島県ブロック) 座長

国土交通省労働資材対策室長、内閣府防災担当参事官、災害科学国際研究所教授等を経て、2025年4月より現職。経済学博士。